

わらアートまつり

国際湿地都市
NIIGATA

2026 8.29 [±] ▶ 10.31 [±]

上堰潟公園 新潟県新潟市西蒲区松野尾1番地

ぽかぽか温泉会議 ～湿地の動物大集合!～ 作品紹介

【主催】新潟市

【協力】武蔵野美術大学 / 長岡造形大学 /
ウチヤマ看板 / わらアート JAPAN

【お問い合わせ】新潟市西蒲区産業観光課
観光交流・商工室

【電話番号】0256-72-8417



わらアートまつり公式
Instagram



新潟市西蒲区観光情
報公式サイト

ある日、遠い国の湿地に暮らす動物
たちのもとへ一通の招待状が届きました。
「新潟にある五つの温泉に、湿地に住
むあなたたちを招待します!」

動物たちは世界中から集まり、湯け
むりが立ちのぼる温泉地へとやってきま
した。そこには、それぞれ違った魅力を
持つ五つの温泉があります。

広い海を望む温泉、お肌がつやつやに
なる温泉、黒く輝くお湯が湧く温泉、
悩みも疲れも吹き飛んでしまうような
温泉、新鮮な海の幸に出会える温泉。

ぽかぽかの温泉に浸かるたび、みんな
の心も体もあたたかくなっています。
気がつけば、動物たちの楽しそうな声
が聞こえてきそうです。それぞれ特徴の
違うお湯を楽しみながら、五つの温泉
をめぐる湯めぐりを満喫できたようデ
す。

あなたならどの温泉へ行ってみたいデ
すか?

動物たちと一緒に、新潟の温泉をめぐ
る旅はまだまだ続いています。



田ノ浦温泉 【カピバラ】

ちょっと待つて!そこは海じゃないよ!

温泉に浸かっているのは、水着とシュノーケルを身に
つけた大きなカピバラ。

どうやら沼からやってきたカピバラは、田ノ浦温
泉を海だと勘違いしてしまったみたいです。

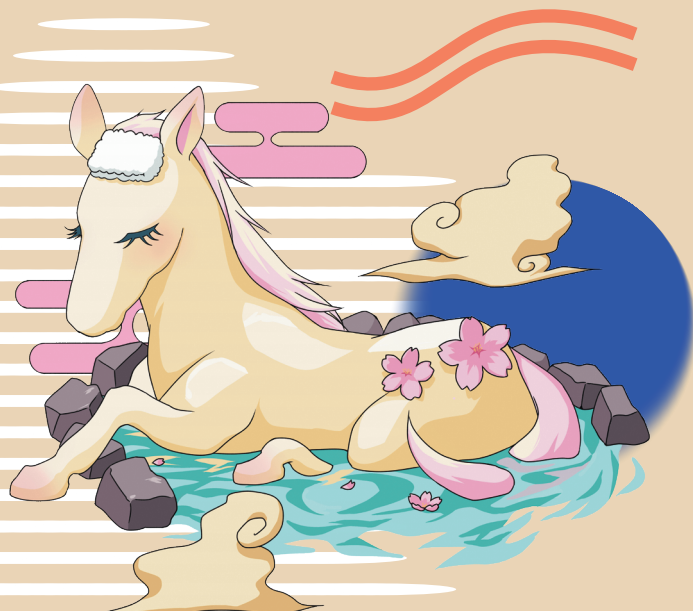
温かいお湯にすっかりご機嫌。

背中をタオルでゴシゴシしながら、温泉を満喫し
ています。

ふと前を見ると、その先には本物の海が広がっ
ていました。

「あれ?海ってあっちだったの?」

海を眺めながら楽しむ温泉も、カピバラにとって
は素敵な発見になったようです。



桜井郷温泉 【白馬】

浸かったお湯は、あなたの中に眠る美しさを
そっと映し出す不思議な湯。

夜空に咲く桜色の光に誘われて、白馬は遠い
国からやってきました。

湯けむりの向こうで舞う花びらと桃色の灯
りは、白馬のたてがみを優しく染め上げます。

静かな時間の中で、白馬は本当の輝きを見
つけていきます。

さあ、あなたもこの湯に浸かり、自分だけ
の美しさを見つけてみませんか。



岩室温泉 【サイ】

「黒湯」と呼ばれ湯船が黒く輝く岩室温泉には、カッコいい温泉を求め旅するサイがはるばる西の湿地からやってきました。

アツアツな湯船に全身の疲れを癒やされていたのにもかかわらず、サイの体はなんと岩室温泉の力で変化を遂げました。

背中が温泉を囲む山々のように盛り上がり、ツノやツメは黒い硫化鉄が付いてキラキラと岩石のように固まったのです。

自分のカッコいい姿に喜び、これからも岩室温泉に浸かり続けることに決めたサイ。

今でも私たちの癒しのひとときを見守っています。

湯神社温泉 【カエル】

刺激の少ない穏やかな湯からは、毎日「はあー」という幸せのため息が聞こえてきます。

渦を越えて日本各地を旅してきたカエルが手足を伸ばして、うっとり寛いでいるようです。

その様子はまるでこの湯を守っている温泉の主！

美肌の湯で有名なお湯にぶかぶか浸かっているうちにカエルの肌は湯の恩恵を受けてとってもすべすべ♡

そんなカエルと一緒に温泉に浸かれば、美肌はもちろん、陸での悩みや不安も、湯に溶けて消えていくはず。



寺泊温泉 【カニ】

ここは多くの人で賑わう活気あふれる海沿いの市場。

新鮮な海産物を手に取る人々に紛れて、小銭を握りしめた一匹のカニが人ごみの中へ飛び出しました。

こつそり通行人のカバンに入り込み、たどり着いたのはなんと温泉宿。

小さなカニは握りしめていた小銭をカウンターに差し出し、さっそく温泉を堪能します。

しばらく浸かると、自慢のハサミに塩の結晶がくっついていました。それを見たカニは、故郷の海を思い出して微笑むのでした。

